

◎巻頭インタビュー

大型トラックへの愛着 みたいなものがある。

株式会社青和運輸

土井茂さん (写真中央)

鮫島陽祐さん (写真左)

門馬博行さん (写真右)

関東一円に広範なネットワークを確立し、物流事業において良質なサービスを展開する株式会社青和運輸。今回は、同社の足立営業所配送センターに所属する土井茂(どいしげる)さん、鮫島陽祐(さめしまようすけ)さん、門馬博行(もんまひろゆき)さんにお話をうかがいました。

青和運輸で “やりがい”を手に

Q: 皆さんそれぞれ、出身や経歴などについて教えてください。

土井: 私は、ここ川口市安行の出身です。高校を卒業して、自動販売機を設置したりする仕事に就いて10年くらい勤務しました。そのときは2トン車に乗っていたんですが、「大型トラックに乗りたい」と思い、青和運輸に転職しました。4トン車に乗りながら大型の免許を取って、半年くらいで大型トラックに乗るようになりました。今、5年目です。

Q: 次は鮫島さん、どうぞ。

鮫島: 新座市の出身です。高校を出て地元の運送会社でリフトマンとして2年ほど働いて、その後青和運輸に転職したときもリフトマンで入社しました。1年くらい働くうちにドライバーの仕事に興味を持って、最初に2トン車に乗り、その後4トン車に乗るようになりました。今は大型免許を取ったので、時々大型トラックにも

乗ります。ドライバーになって3年目です。

Q: では、門馬さん、お願いします。

門馬: 出身は蕨市です。私は今39歳ですが、高校を卒業してからずっと運送会社でドライバーをやってきました。働いていた営業所が途中でなくなるなど、いくつかの「ついていない」経験を経て、青和運輸で8社目。昨年入社で、まだ1年経っていませんが、「ここでやっていけそうだ」という感触を持っています。車両は大型トラックに乗っています。

Q: なるほど。皆さん、この会社でドライバーとしての“やりがい”を手にされたことがわかりました。

「好き」が 仕事の原動力

Q: トラックドライバーを志したきっかけは?

門馬: 私は、父の影響です。父がトラックドライバーで、小さい頃に、父が運転する大型トラックに乗せても

株式会社青和運輸…代表取締役社長:青木 茂 統括本部:東京都足立区入谷7-5-9 TEL 03-3897-3894
足立営業所配送センター:埼玉県川口市大字安行領家1917-1 TEL 048-290-3841
ホームページ:<http://seiwa-unyu.net/index.html>



らって、うれしかった記憶があります。その影響で「自分も乗りたい」と思い、今につながっています。

土井:私も最初の動機は、門馬さんに近い。ウチは母子家庭だったんですが、母がコンテナを運ぶトレーラーの運転をしていて、そんな写真を見てカッコイイと思っていました。今の思いは、まず自分が乗っている大型トラックへの愛着みたいなものがドンとあって、その上に乗っかるようにトラックドライバーの仕事があるという感じですね。

Q:「好き」が仕事の原動力なんですね。鮫島さんはどうですか？

鮫島:漠然と「いいな」と思ってドライバーになりましたが、だんだんこの仕事が好きになり、「しっかりやろう」という気持ちが強まりました。

家電製品や 段ボールなどを運ぶ

Q:皆さんフリー便の担当とうかがっていますが、荷物はどんなものが多いのですか？

土井:最近は大いたい傾向が決まっていて、一番多い荷物は家電製品。それから、段ボールなどですね。家電製品は工場から在庫センターへの運送で、距離にして60キロくらい。

門馬:私も同じです。

鮫島:私は段ボールが多いです。工場から工場ということもありますし、段ボールを梱包などに使う食品会社さんに持って行くことも多いです。

勤務の時間帯は、どんな感じですか？

土井:私たちは、朝5時くらいに出庫して2回の運行をして、夕方までには



帰庫します。早ければ午後2時くらいに終わることもありますね。

Q: 休日は？

土井: 日曜、祝日です。ちなみに、当社は有給休暇の取り組みが進んでいて、取りやすいので、ドライバーは皆助かっています。

車間距離・速度・安全確認に気を付ける

Q: 自分自身の運転について、どんなタイプだと思っていますか？

土井: 温厚に運転している……感情の起伏が少なく、穏やかなタイプだと思います。

鮫島: 適性診断を受けると、全体的にあまり結果が良くないんです。それだからこそ、「気を付けて運転しよ

う」と自分に言い聞かせているタイプ。そんな感じですね。

門馬: 私は、適性診断だと「協調性がない」というのが必ず出てくるんですよ。自分では「そうかなあ？」と疑問なんですけれど。でも、まあ、そういう診断が出てくるので、意識して“譲る運転”をしています。

Q: 安全運転のために注意していることは何ですか？

土井: 車間距離をかなり開けるようにしています。以前、首都高の山手トンネルの合流区間で、前を走っていたクルマが急ブレーキを踏んで停まったために、こちらが追突しそうになったことがありました。それは、そのクルマの前に別のクルマが強引に割り込んだからなんです。その経験から、車間距離は以前にも増し

温厚に運転している 感情の起伏が少なく 穏やかなタイプだと思う

て開けるようにしています。

門馬:私は速度です。会社の決まりは、一般道が60キロまで、高速道路が80キロまでですが、安全に走るために、場合によってはさらに抑えて走ることもあります。

鮫島:私は、だんだん大きなトラックに乗るようになったので、左折の巻き込み確認とオーバーハングの振れ幅などに注意して運転しています。

人間関係が フレンドリー

Q:ところで、自社の“いいところ”を教えてください。

土井:いい意味で「ドライバー任せじゃない」ところ。現場で起きたことを解決するのに、ドライバーだけでなく必ず事務所が動いてくれます。「些細なことでも連絡してくれ。こちらで解決できることは全部するか

ら」と言ってくれるので、すごく心強いです。

Q:しっかり支えてくれているんですね。鮫島さんはどうですか？

鮫島:人間関係が本当に良くて、居心地がいい会社です。

門馬:同感ですね。いくつかの運送会社で働いてきましたが、この会社ほど先輩たちがフレンドリーに接してくれ、いい雰囲気を作っている会社はありませんでした。土井さんはその典型ですよ。私が入社した時、研修などを担当してくれたのが土井さんなんです。教え方はうまいし、言葉も丁寧で、わからなかったら、わかるまで教えてくれる。頼りになる人です。

鮫島:本当に。仕事もきちっとやり、個人的にも「すごいなあ」と尊敬しています。

土井:いやいや、お世辞言ってもなんも出ないよ(笑)。



コロナ禍でも それぞれ楽しく

Q:プライベートの過ごし方は?

門馬:この会社に入って時間ができたので、妻と子供たちとで公園に行き遊んだりするのが楽しみです。コロナ禍なので、“あんまり人気のない公園”に行くようにしています。

Q:家族構成は?

門馬:ウチは、妻と子供が6歳を筆頭に男・女・女・男の順で4人。それと、22歳になる姉の娘も一緒に住んでいて、全部で7人家族です。

Q:にぎやかそう!土井さんは?

土井:ウチは、妻と4歳の娘が1人です。私も、休みは子供と遊んだりして、家族と一緒に過ごします。

Q:娘さんのマイブームは?

土井:「鬼滅の刃」、それから「フィッシューズ」。

Q:えっ、4歳にして?

土井:タブレットのマイクに自分で見たいものを言って、検索して見えています。一緒に遊ぶのは、ままごとですね。子供用のキッチンに、マジックテープでくっつく野菜とか……。

Q:家族思いですね。

土井:結婚したら、自分が主役の人生は終わり!何のために仕事をしているのかといえば、家族のためです。

Q:確かに。では、鮫島さんは?

鮫島:私はまだ結婚していないので、休日はネットの動画サイトでアニメとか映画を見たりしています。

Q:まだ自分が主役の生活ですね(笑)。皆さん、今日はありがとうございました。